

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>学習指導要領に示す目標に従い世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編・第2編の各第1章・第2章で世界・日本を大観する写真を取り上げている。各第3章では世界は各州ごと、日本は各地方ごとに地域的特色を示す地図を取り上げている。各第4章では地域の調査として世界では1カ国を例に、日本では1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、資料に関する問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、学習を深めるための作業や活動場面を設け、興味を引く話を紹介している。まとめとして、その時間に学習した内容を確認したり、さらに深めたりする課題を設けている。</p> <p>第1編・第2編の各第1章から第3章について、各章ごとに学習した内容を確認している。また、各第3章については、各州・各地方ごとに、まとめ例を取り上げ、学習した内容の振り返りを行っている。</p> <p style="text-align: right;">別表1</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p> <p>地理の基礎的スキルを習得するコラム「地理スキル・アップ」を16項目、「調査の達人」を20項目記載している。</p> <p style="text-align: right;">別表2</p>

発行者名		
17 教出	46 帝国	116 日文
<p>学習指導要領に示す目標に従い世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編・第2編の各第1章・第2章で世界・日本を大観する地図・写真を取り上げている。各第3章では世界は各州ごと、日本は三つの地域ごとに地域的特色を示す写真を取り上げている。各第4章では地域の調査として世界ではアジアの1地域を例に、日本では1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、学習のきっかけとなる資料を解説文とともに紹介している。展開として、学習課題を明記し、学習の中でおさえておきたい用語の説明を表記し、資料を読み取ったり、考えを深めたりする作業・活動場面を設けている。まとめとして、その時間に学習した内容を確認し、学習した内容を活用して表現する課題を設けている。</p> <p>第1編・第2編の各第2章、各第3章については、各州・各地方ごとに学習した内容の振り返りを行っている。</p>	<p>学習指導要領に示す目標に従い世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編・第2編の各3章で世界は各州ごと、日本は各地方ごとに地図を用いて注目するテーマ・視点を取り上げている。各第4章では地域の調査として世界では1カ国と六つの視点と写真、日本では1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、資料に関する問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、教科書や地図帳を活用した作業を設け、資料に関する問いかけや作業・活動する場面を設けている。まとめとして、本文から大切な事項を書き出す作業や学習した内容を踏まえ自分の言葉で説明する作業を設けている。</p> <p>第1編・第2編の各第3章について、各州・各地方ごとに学習の振り返りを行っている。</p>	<p>学習指導要領に示す目標に従い世界や日本の地理的認識を養う内容を豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>第1編・第2編の各第1章・第2章で世界・日本を大観する写真を取り上げている。各第3章では世界の各州ごと、日本は各地方ごとに地理的特色を示す写真を取り上げている。各第4章で地域の調査として世界では1カ国を例に、日本では1都市を例に取り上げている。</p> <p>導入として、資料に関する問いかけを設けている。展開として、学習課題を明記し、図版の読み取りや読み取ったことをもとに考えたり表現したりする活動と学習内容を深めるための作業場面を設けている。まとめとして、学習の理解を確かにする活動や学習した内容を活用して考えを深めたりする問いかけを設けている。</p> <p>第1編・第2編の各第3章について、各州・各地方ごとに学習した内容の振り返りを行っている。</p>
<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p> <p>地理の基礎的スキルを習得するコラム「地理にアプローチ」を16項目掲載している。</p>	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p> <p>地域の基礎的スキルを習得するコラム「技能をみがく」を25項目、「トライアル地理」を2項目記載している。</p>	<p>地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。</p> <p>世界と日本の諸地域に関する学習は、諸地域の地域的特色について適切な主題を設定し、各地域に暮らす人々の生活の様子が把握できる図や写真を取り上げている。</p> <p>地理の基礎的スキルを習得するコラム「スキルup」を37項目記載している。</p>

教科・種目名 社会（地理的分野）

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<p>言語活動の充実を図る工夫として、「確認」マークを設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的にとらえる工夫として、「地理にアクセス」と「深めよう」を設けている。</p> <p>地域の調査事例では、韓国と静岡県静岡市を取り上げている。</p> <p>まとめ方の方法として、レポート形式を例示している。</p> <p>調査学習を進める上での基礎的な技能を身に付ける「調査の達人」コーナーを設けている。</p> <p style="text-align: right;">別表 3</p>
	(3) 生徒が自主的に学習に取り組むことができる配慮	<p>「教科書で使われているマーク」で本文ページの見方・使い方を説明している。</p> <p>また、本文のページでは「学習課題」・「ためしてみよう」を設けている。</p> <p>さらに、各章末ごとに学習した内容を確認・整理するための「この章の学習を確認しよう」と各第3章の州・地方ごとに「～振り返ろう」のページを設けている。</p> <p style="text-align: right;">別表 4</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<p>発展的な学習内容として、発展の印をつけ、「大陸も海底も移動する」のコラムを掲載している。</p> <p style="text-align: right;">別表 5</p>
	(5) 他の教科等との関連	<p>歴史的分野との関連のある内容に印などをつけて14箇所取り上げている。</p> <p>公民的分野との関連のある内容に印などをつけて24箇所取り上げている。</p> <p>道徳との関連を示す印などはない。</p> <p>人権教育、福祉教育、キャリア教育、環境教育と関連のある内容に印などをつけて、1箇所取り上げている。</p> <p>男女共同参画社会の追究への配慮を示す印などはない。</p> <p style="text-align: right;">別表 6</p>

発行者名		
17 教出	46 帝国	116 日文
<p>言語活動の充実を図る工夫として、「ふりかえる」ステップ1・ステップ2を設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的にとらえる工夫として、「地理の窓」と「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」を設けている。</p> <p>地域の調査事例では、南アジアと愛知県名古屋市を取り上げている。</p> <p>まとめ方として、レポート形式を例示している。</p> <p>調査活動を進める上での基礎的な技能を身に付ける「地域調査の手引き」と発問形式で調査について考える「調査のポイント」を設けている。</p>	<p>言語活動の充実を図る工夫として、「確認しよう」と「説明しよう」を設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的にとらえる工夫として、「羅針盤マーク」と「地域を探ろう」を設けている。</p> <p>地域の調査事例では、韓国と東京都練馬区を取り上げている。</p> <p>まとめ方として、レポートと壁新聞の形式を例示している。</p> <p>調査学習を進める上での基礎的な技能を身に付ける「技能をみがく」コラムを設けている。</p>	<p>言語活動の充実を図る工夫として、「言語活動コーナー」と「学習の確認と活用」を設けている。</p> <p>地理的事象を多面的・多角的にとらえる工夫として、「地理プラスα」と「自由研究」「地域からのメッセージ」を設けている。</p> <p>地域の調査事例では、ロシアと愛知県小牧市を取り上げている。</p> <p>まとめ方として、壁新聞の形式を例示している。</p> <p>調査学習を進める上での基礎的な技能を身に付ける「スキルUP」コーナーを設けている。</p>
<p>「地理教科書の使い方」で本文ページの見方・使い方を説明している。</p> <p>また、本文のページでは「学習課題」・「ふりかえろう」を設けている。</p> <p>さらに、各章末ごとに学習した内容を確認・整理するための「学習のまとめと表現」のページを設けている。</p>	<p>「この教科書の学習の仕方」で本文ページの見方・使い方を説明している。</p> <p>また、本文のページでは「学習課題」・「確認しよう」・「説明しよう」を設けている。</p> <p>さらに、各第3章の州・地方ごとに学習した内容を確認・整理するための「学習をふりかえろう」のページを設けている。</p>	<p>「教科書の構成と使い方」で本文のページの見方・使い方を説明している。</p> <p>また、本文のページでは「学習課題」・「言語活動コーナー」を設けている。</p> <p>さらに、各第3章の州・地方ごとに学習した内容を確認・整理するための「学習のまとめ」のページを設けている。</p>
<p>発展的な学習内容として、発展の印をつけ、「なぜ、日本では地震が多くおきるのか」のコラムを掲載している。</p> <p>歴史的分野との関連を示す印などはない。</p> <p>公民的分野との関連を示す印などはない。</p> <p>道徳との関連を示す印などはない。</p> <p>人権教育、福祉教育、キャリア教育、環境教育と関連のある内容に印などをつけて取り上げている箇所はない。</p> <p>男女共同参画社会の追究への配慮を示す印などはない。</p>	<p>発展的な学習内容として、発展の印をつけ、「どうして日本は地震が多いのだろう」「地震と津波」のコラムを掲載している。</p> <p>歴史的分野との関連を示す印などはない。</p> <p>公民的分野との関連を示す印などはない。</p> <p>道徳との関連を示す印などはない。</p> <p>人権教育、福祉教育、キャリア教育、環境教育と関連のある内容に印などをつけて、15箇所取り上げている。</p> <p>男女共同参画社会の追究への配慮を示す印などはない。</p>	<p>発展的な学習内容として、発展の印をつけ、「地震・津波が起きるしくみ」のコラムを掲載している。</p> <p>歴史的分野との関連のある内容に印などをつけて12箇所取り上げている。</p> <p>公民的分野との関連のある内容に印などをつけて5箇所取り上げている。</p> <p>道徳との関連を示す印などはない。</p> <p>人権教育、福祉教育、キャリア教育、環境教育と関連のある内容に印などをつけて、11箇所取り上げている。</p> <p>男女共同参画社会の追究への配慮を示す印などはない。</p>

教科・種目名 社会（地理的分野）

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	<p>総ページ数は295ページで、A B判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料に解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p> <p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフを色つきで記載している。 用語解説のページを巻末に設けている。</p> <p style="text-align: right;">別表7</p>

発行者名		
17 教出	46 帝国	116 日文
<p>総ページ数は279ページで、A B判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料に解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p> <p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフを色つきで記載している。 用語解説のページを巻末に設けている。</p>	<p>総ページ数は279ページで、A B判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料に解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p> <p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料・グラフの記載はない。 本文の欄外に「用語」と明記し、用語解説を記載している。</p>	<p>総ページ数は281ページで、A B判である。</p> <p>ユニバーサルデザインに向けた工夫については、読みやすい書体、文字の大きさ、図表となっている。</p> <p>写真やグラフなどの資料に解説を記載しているものもあり、本文中に参照する番号を表記している。</p> <p>世界の国別・日本の都道府県別統計資料を記載している。 用語解説のページを巻末に設けている。</p>